

Unified Web and E-Mail Interaction Manager バージョン 4.2(5) : Weblogic により WIM 4.2(5) のアップグレード後に ISAPI のエラーが発生する

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco Unified Web Interaction Manager 4.2(5) へのアップグレード後に、ISAPI のエラーが表示されます。このドキュメントでは、この問題のトラブルシューティング方法について説明します。

。

前提条件

要件

Cisco は Cisco Unified Web および E メール 相互対話マネージャをインストールする方法のナレッジがあることを推奨します。詳細については [Cisco Unified Web および E メール 相互対話 マネージャをインストールすることを参照して下さい](#)。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco Unified Web および E メール 相互対話 マネージャバージョン 4.2(5) に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

問題

Cisco Unified Web Interaction Manager 4.2.5 にアップグレードした後、Weblogic により ISAPI エラーを引き起こします。Weblogic はライセンス マッピング することは破損していることにスタンドアロンおよびそれとして開始されてようでも、アップしません。

解決策

ライセンス マッピング することを固定するためにこれらのステップを完了して下さい:

注意: アップしている間ライセンス マネージャ ログの I18N_EGPL_LICENSE-ACTION_LICENSE_MAPPING_CORRUPTEXCEPTIONS を見る `populate.bat` ファイル `onlyif` を実行する必要があります。

1. ファイルサーバに < CIM_install > |ピンにファイル `populate.bat` を\プラットフォーム\ウィンドウ フォルダ置いて下さい。
2. このファイルの JAVA ホームおよび PL ホーム パスを変更して下さい。
3. Cisco 相互対話マネージャ (CIM) アプリケーションが停止することを確認して下さい。
4. 入力パラメータとしてパーティションID と `populate.bat` を実行して下さい。たとえば、
command プロンプト `c:\CIM\eservice\bin\platform\windows\populate.bat` でこのコマンドを
1 実行して下さい

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)